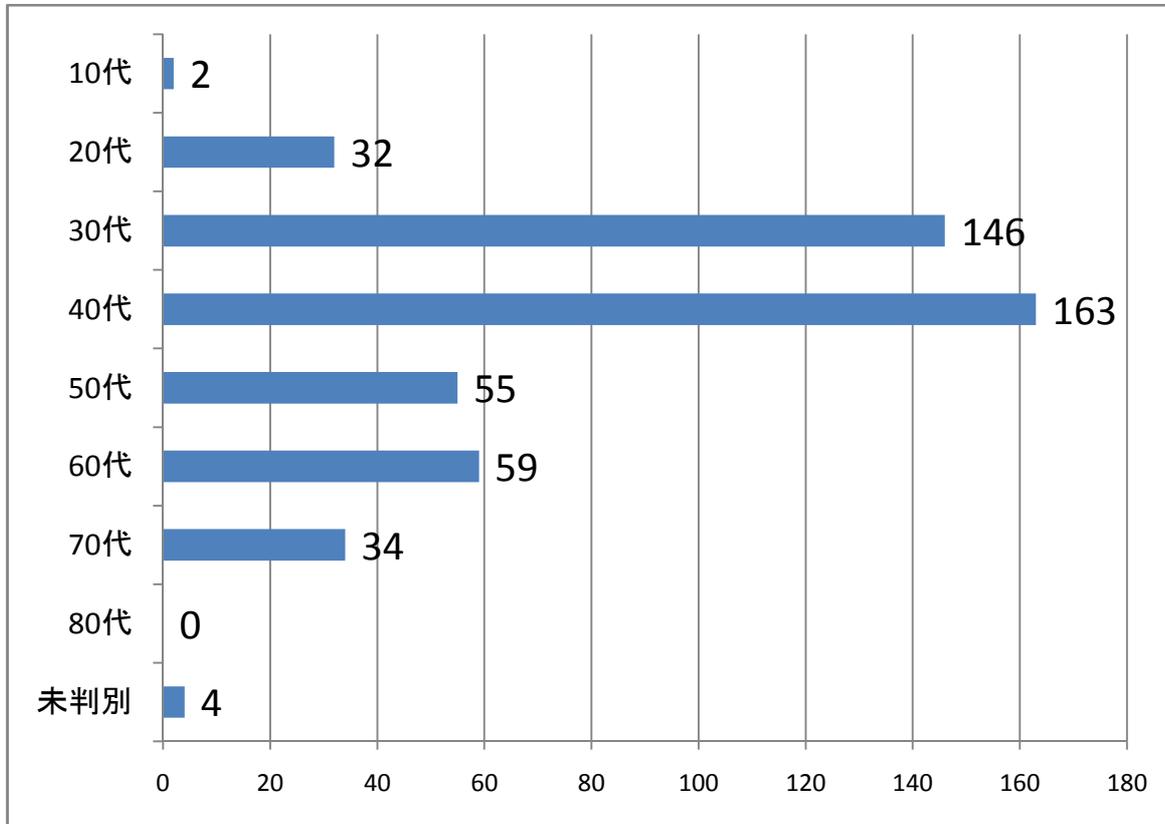
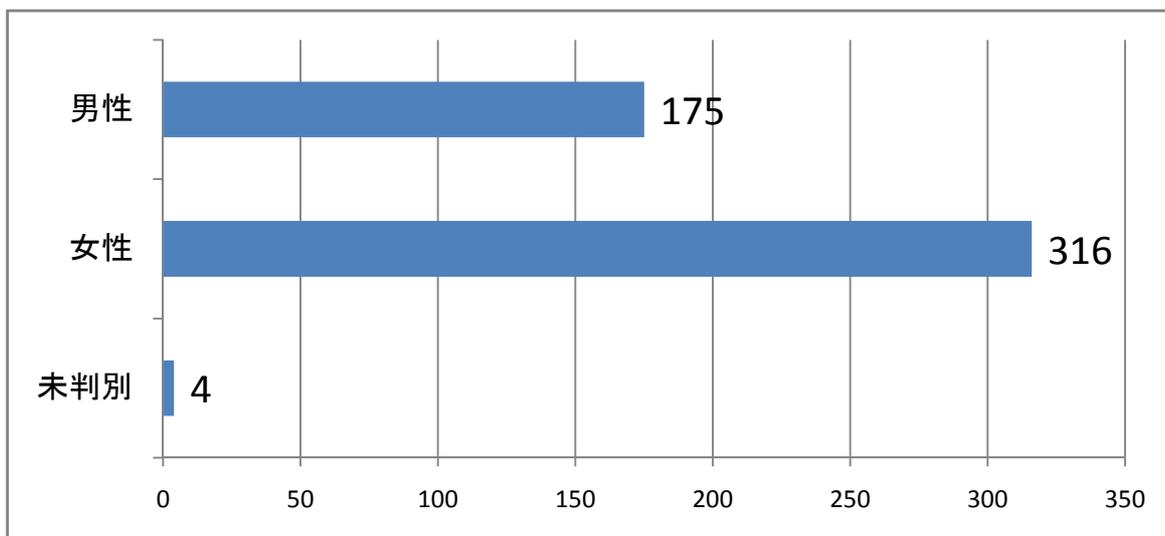


第3回eモニターアンケート「新美南吉について」
実施期間：平成24年8月16日～26日、回答者数495人

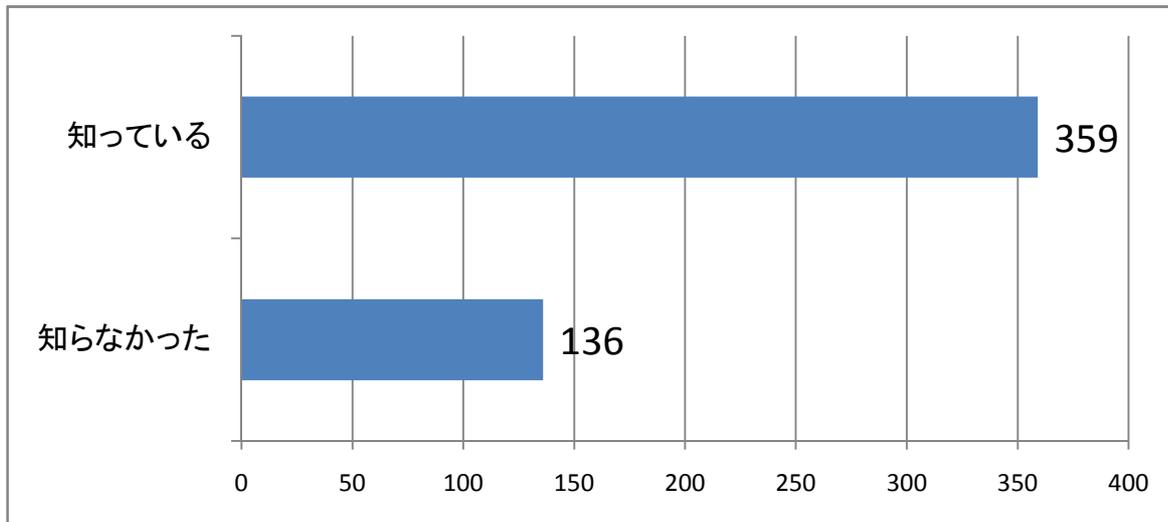
世代別回答者数



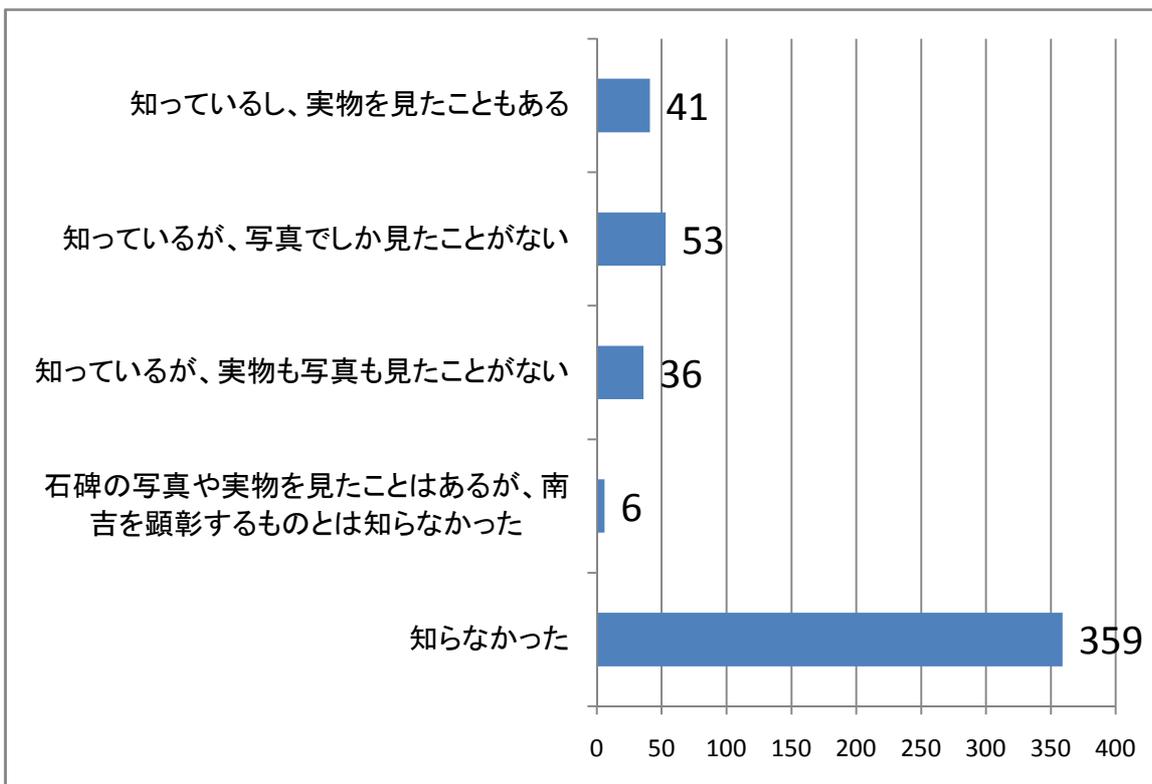
男女別回答者数



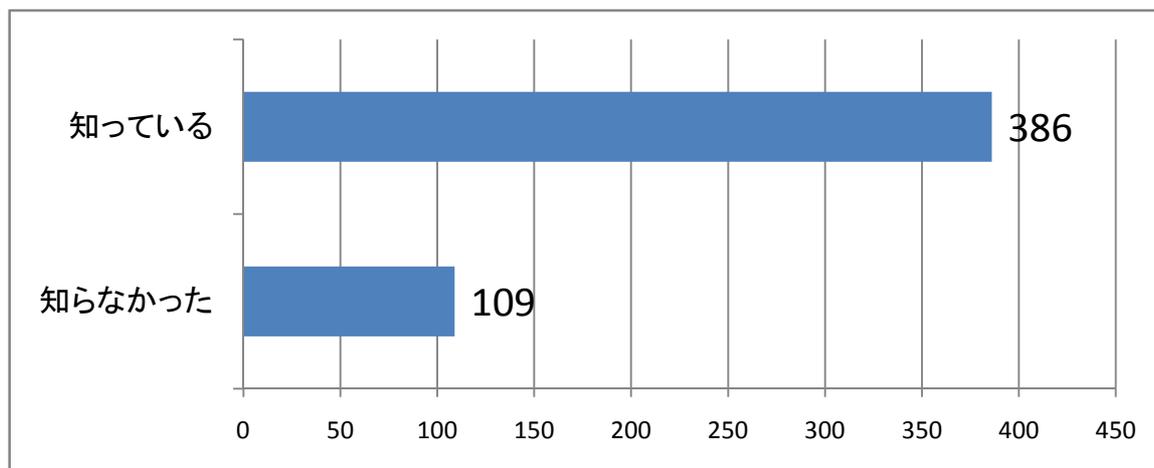
新美南吉が昭和13年から5年間、安城高等女学校(現安城高等学校)の教員をしていたことをご存じですか。



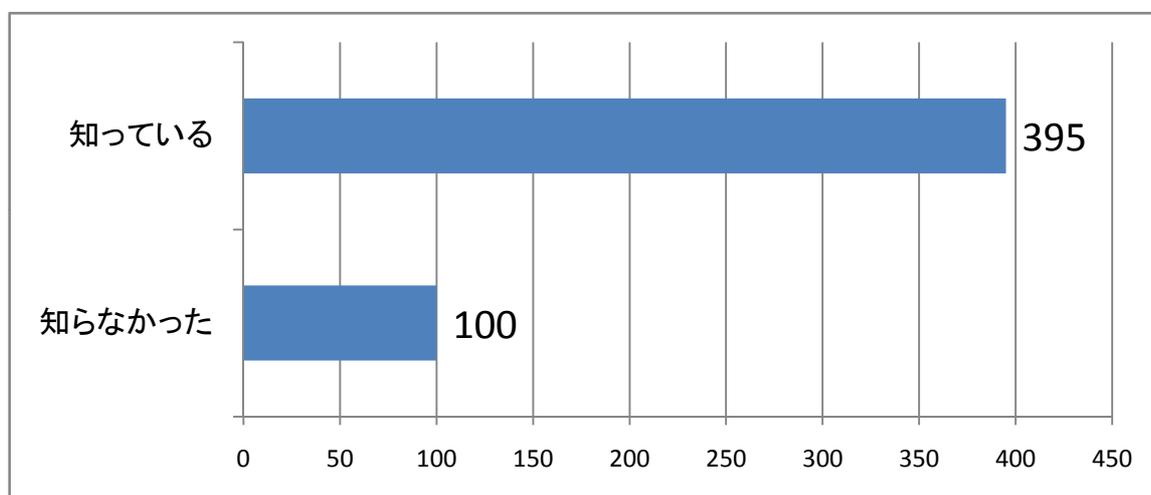
安城高等学校の校庭に、南吉顕彰の全国第1号碑である「ででむし詩碑」が設置してあることをご存じですか。



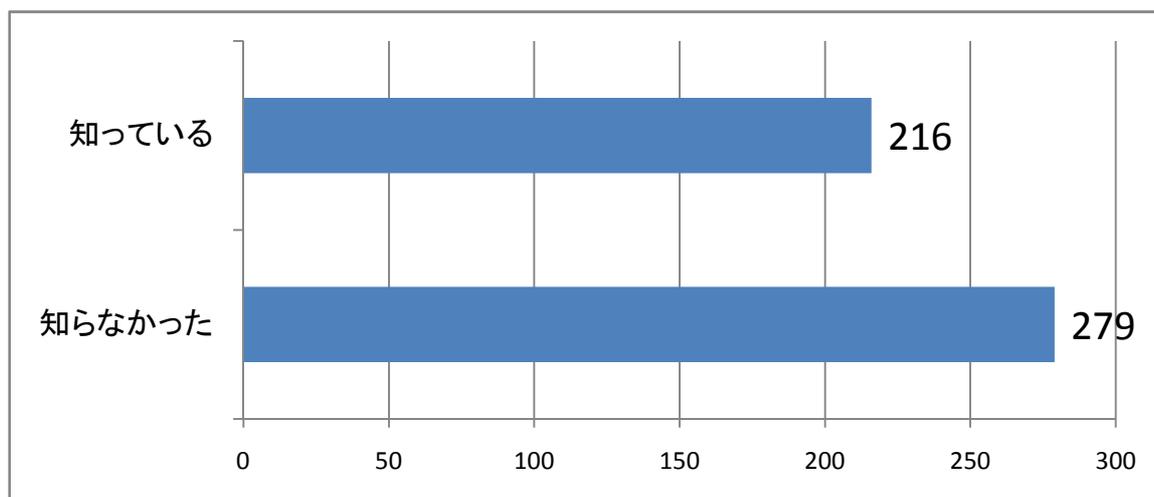
平成25年が新美南吉生誕百年の年であることをご存じですか。



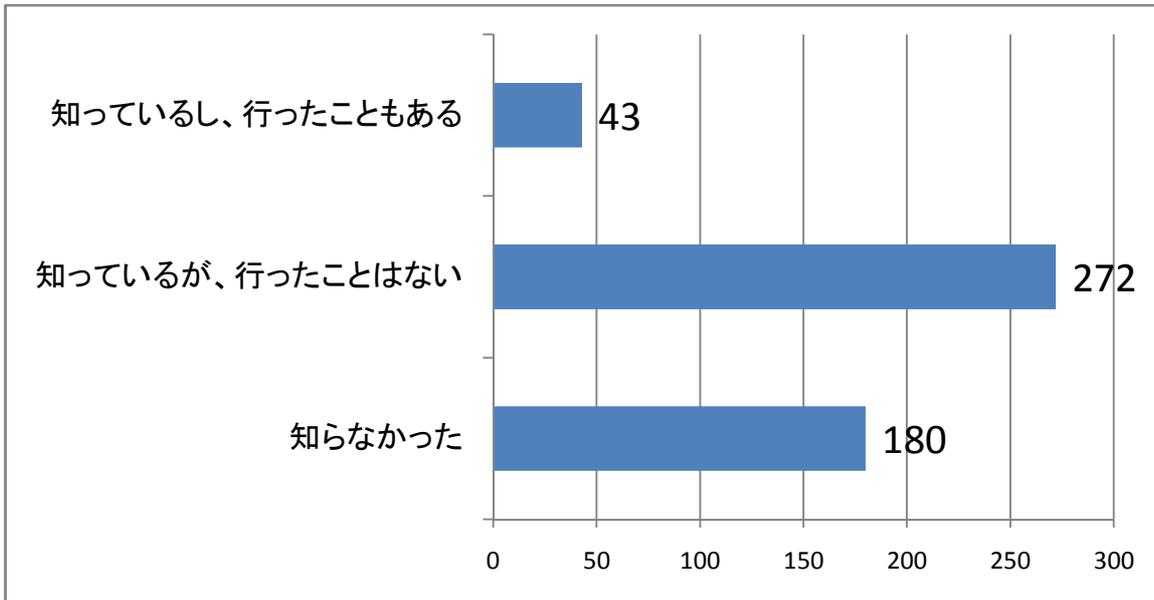
あんくるバスに「新美南吉生誕百年」とプリントされていることをご存じですか。



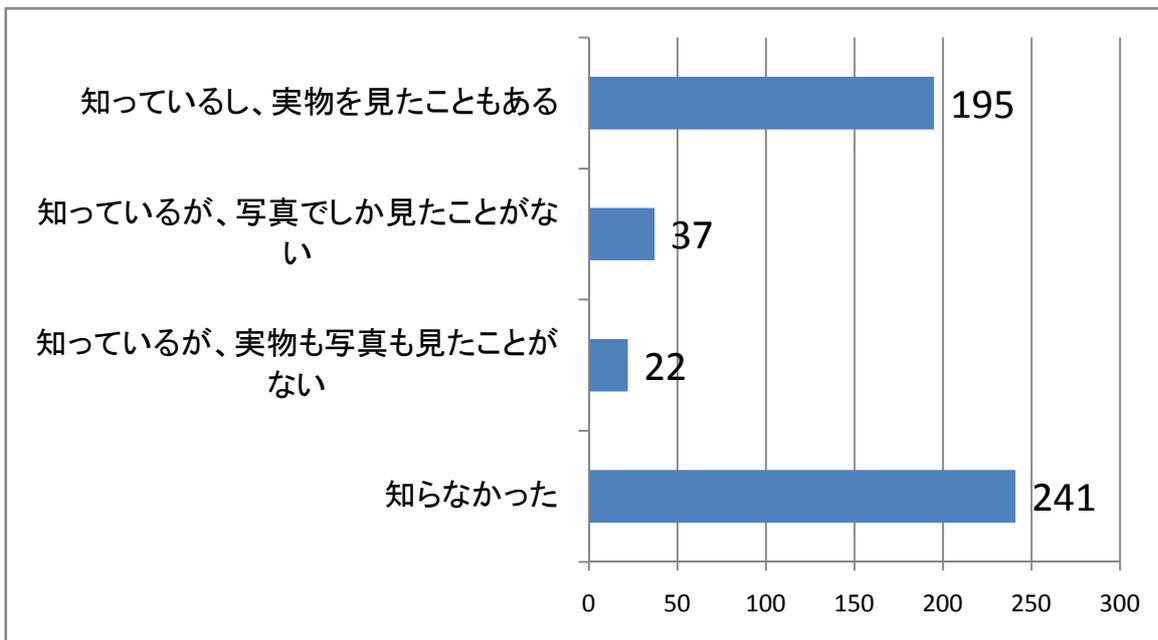
安城市中央図書館が南吉童話を絵本にした作品を公募する「新美南吉絵本大賞」を実施していることをご存じですか。



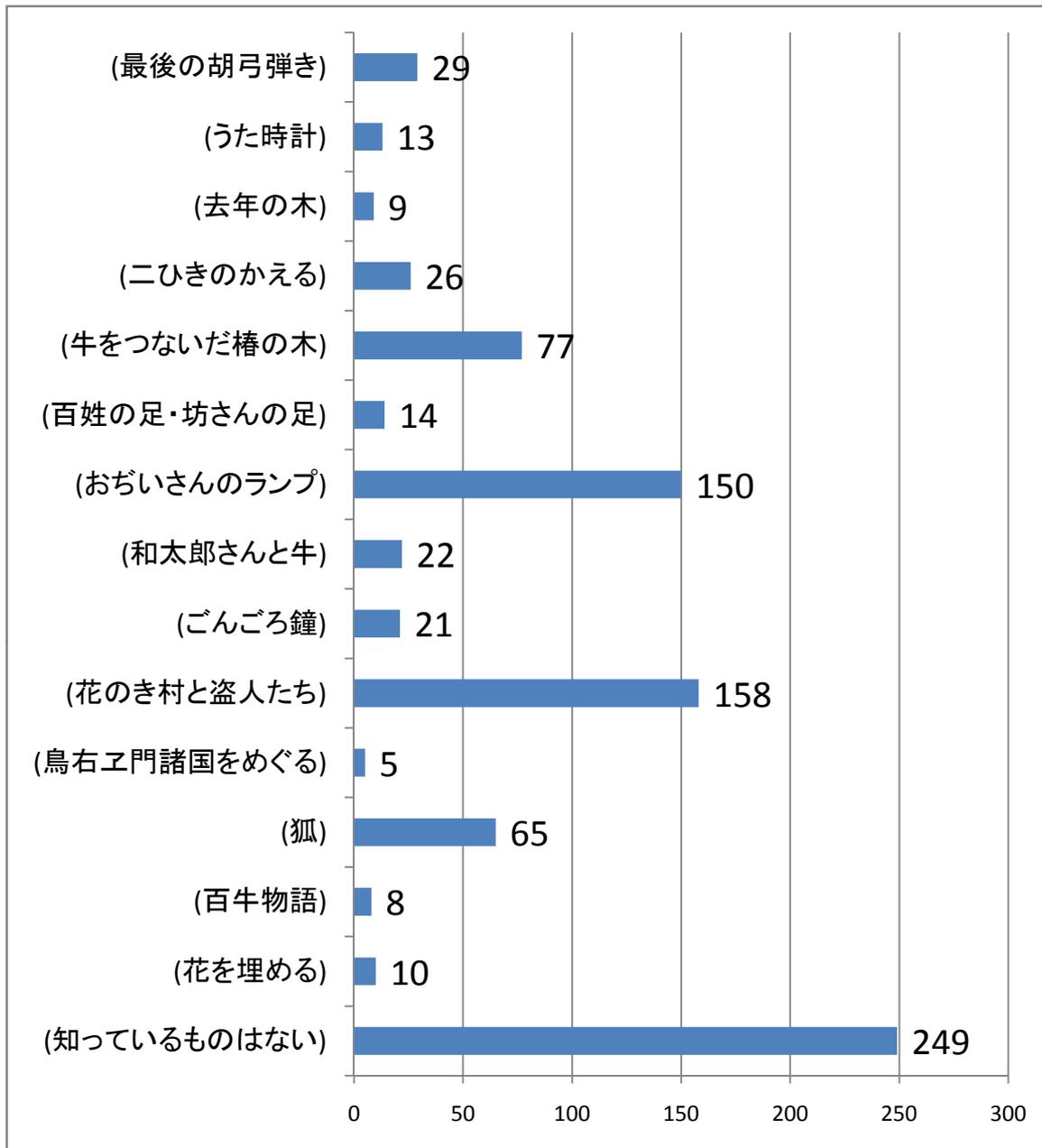
御幸本町に、南吉のパネルや作品などを見ることができる喫茶店「ギャラリー&カフェ南吉館」があることをご存じですか。



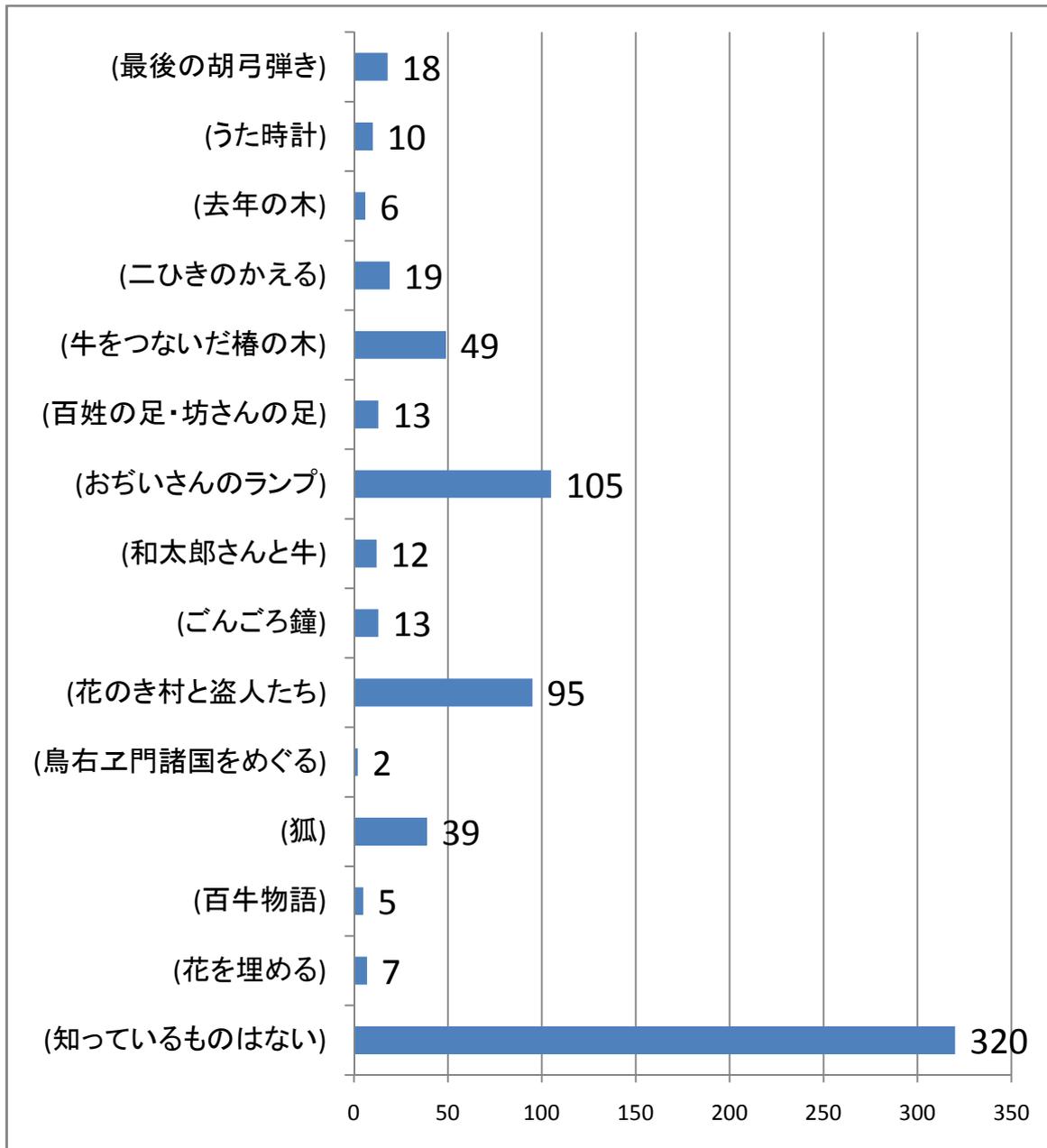
JR安城駅前商店街の複数の店舗に、南吉や南吉作品をモチーフにしたペンキ絵が描かれていることをご存じですか。



南吉が安城で教員をしていた時代の代表的な作品のうち、名前を知っている作品全てを選択してください。(複数回答可)



南吉が安城で教員をしていた時代の代表的な作品のうち、読んだことがある作品全てを選択してください。(複数回答可)



安城市が「南吉が青春を過ごしたまち 安城」をキャッチフレーズとして、南吉を活用したまちづくりを進めるにあたって、事業アイデアがありましたら自由にご記入ください。

南吉作品の人形劇や演劇、ミュージカルの上映会をして、広く知ってもらうのはどうでしょう？
南吉ウォークラリー、サイクリングなど縁のポイントを回るイベントはどうでしょう？

安城市へ引っ越してきて、「ごんぎつね」の作者がはじめて新美南吉氏としました。子供のころに読んだ本なので話を聞くとその作者とわかるが、題名と作者名からだとな方が結びつきません。キャッチフレーズから考え直したほうがよいのでは？

きつねのキャラクターを考える。

境港市のように妖怪でPRしているように安城は南吉の童話に出てくる動物をモチーフにした像を繁華街（電柱のない市街地）に配置して南吉と安城のつながりをアピールしたらいかがでしょうか？

また南吉の童話集を小中学校に配布して南吉童話をみんなに知ってもらえるようにしたらどうでしょうか？

70代の私には南吉の名前は知っているが、童話は知らないという人が多いと思います。学校で学びながら教えていくことも必要と思います。

キャッチフレーズ自体がピンとこない。なぜ今このタイミングで新美南吉なのか分からない。生まれ育ちが違うし、有名な作品をつくった時期でもない。「新美南吉と言えば…」で思い浮かぶ市でもないの、無理やり感がある。農業や、七夕、新幹線など、他にもたくさん代表的なものもあるのに、なぜ南吉にしたのかが分からない。他の市の人にも聞いたが、みんな同意見だった。デンパーク→アンデルセンとのバランスも悪くなるし、これ以上のまちづくりはやめたほうが良いと思う。

現在の国語の教科書に使われている作品を、そのイメージに合ったイラストをあんくるバス等にプラスするといいかもかもしれません。

南吉饅頭の創作（イチジク餡）。

冗談はさておきここからは少し辛辣に…

新美南吉と言えば半田のイメージが強い人物だと思います（新美南吉記念館等もある）。そのような中、あえて南吉を推し進めてしていこうとするのであれば、安城市として腰を据えて長期的視野を持って取組んでいかなければ、成功はしないと考えます（そもそも何をしたいのかがよく分かりません）。

とくにない

特にありません。

キャッチフレーズは大事だからいいと思います。

すべての公共機関に共通の幕を垂らす

現在は、特に案はありません。

まずは南吉をより多くの人に知ってもらうために、南吉の活躍などをWEBサイトやCTVなどに掲載放送する。

思い当たらない。

学校給食のクッキーは、子供たちは喜んでいました。
そういうイベントがあるといいと思います。

生誕地や人生のほとんどを過ごした場所ならば、その人物を取り上げてまちをアピール出来るとは思いますが、南吉については前々から少し無理があると思っていました。(無理やり感があるね、って市街在住の知人も言っていました)半田市に負けているような気も。絵本大賞は良いと思いましたが、誰でも参加できるといった気軽さがない気がしました。俳句や短歌などの気軽さ、キャラクターを生かした食べ物(クッキーは好評でしたので、弁当やほかのお菓子など)など、すみません、その辺しか思いつきません。

花のき村と盗人たちの舞台が安城市の花ノ木町で、当時花ノ木町には「花の木」という木があって牛もいたと花の木書店の御主人に聞いて感動したことがあります。安城神社から安城公園にかけてたくさんの木が林のように植わってます。そこに花の木村のような昔の民家をたてて、隣に牛小屋もたてて牛のつくりものを入れたら物語の中に入ったようで楽しいとおもいます。。下宿していた場所の近くに空地でもあったら、下宿していた建物を再現して見学ができればいいと思います。

町名や市の施設の名前を南吉を絡めた名前に変えてしまう
たとえば「南吉町1丁目」「南吉小学校」「南吉ホール」など

市として南吉ゆかりの地をアピール、市民に浸透させていくのであれば、まず公園などを含む公共施設を南吉ゆかりの名前に改名、命名するなど普段から市民が接することのできるものでなければならぬと感じます。
市の書類や封筒の片隅には、南吉にまつわるゆるキャラや市の書類にキャッチフレーズを掲げるのもありかと思えます。実際にゆるキャラを作ってもいいのかも。サルビーちゃんやきーぼーとの関係が難しいですけど。
広報に南吉の作品を掲載、連載していくのはどうでしょうか。上記の作品については目にしたこともないので。

南吉の代表作を知ってもらうことから、南吉自身、安城への関心へつなげていけるといいと思う。具体的には、読み聞かせのイベント、作品をアニメーション化するなど・・・！？
商店街のペンキ絵を使って、オリエンテーリングをし、商店街の繁栄にも役立てる。

南吉が通った道を南吉ロードとし、そこに作品をモチーフとした銅像をいくつも並べる。

一部の人々が、彼岸花を植えたりは、とてもいいことだと思う。
あの、きつねのクッキーもとてもいいと思う。このまま継続できればいいとおもいます。
広報とかに、もっと入れて欲しい。もっと本を読んで、孫たちに伝えたい。

安城市民となって6年目それ以前私は新見南吉の名前も作品も知りませんでした。従って南吉を活用した良いアイデアはありません。申し訳ありません。

現行ある“あきんどクーポン”に倣い“南吉クーポン”をつくり、功績を知らしめる

安城市外の人が一番訪れる機会がある場所がデンパークだと思うので、デンパーク内のモニュメントや花壇を南吉にちなんだものにする。
ごんぎつねクッキーが子供たちに好評だったようです。周辺の道の駅やサービスエリアで販売してみてもいい。

南吉がなぜ安城の街(学校)を選んでここで教鞭をとったか？

生活の苦しい中でここに来る過程、来てからの生活、病との闘いの中で自身の気持ち、思考の変化、体力の維持、経済的な支援、文筆する中で支援者の人たち、そんな中で支えてくれた人はいなかったのか、又、女学校の生徒の感情をどのように受け止め思いを留めた人は無かったか、などの背景を調べそこにヒントがないか？

研修会で半田市の記念館を見ましたが経過が説明されており表面的な街づくりだけではアイデアに限りがある。

亡義母が南吉先生の教え子だから何か出来ればと思います何がご協力して良いのか解らなくてすみません。

南吉が青春を過ごしたまち というのは無理がある。生誕地ならまだしも、青春を過ごしたって言われてもピンと来ない。デンマークとの交流をもっと生かした町作りをした方が良い。はっきり言って「南吉」と言われても関心が持てない。

子供(小2)が学校で「南吉の本を上級生が朗読してくれる」と言っていました。「南吉の本はすごくおもしろいんだよ！」と教えてくれたので図書館で何冊か借りて読んでみました。(今も南吉の本を二冊図書館で予約してます)下の子(5才)も興味深く読んでいます。本に親しむいいきっかけとなりました。また、パソコンで南吉の本を検索して近くの図書館で受け取れるというのが本当に便利で素晴らしいシステムだと思います。きっと、こういうシステムを知らないかたも多いと思うのでもっとたくさんの人に知ってもらえたらいいと思います。

南吉通貨の発行。

特に思いつかない

ごんぎつねがとても有名なので、きつねのスイーツやきつねに因んだ安城市オリジナルのおいなりさんを食べられる場所があったらいいと思います。

他所から来ましたので新美南吉の名前ぐらいしか知りません。彼の人生についての事業ができれば是非見にゆきたいです

若くして亡くなった新美南吉、その短い人生の中で、教師時代が一番幸せで充実していたと、確か半田にある新美南吉記念館で知った記憶があります。その幸せだった時代すべてが安城での教師生活だったのかな、と考えると嬉しいです。短命だった彼の幸せな時を過ごせた安城市で生活できている事が、知り合いに北の宮沢、南の南吉といわれた事も嬉しかった。宮沢賢治と肩を並べるほどの作家なのに、宮沢賢治を越える事はない、しかし決して衰えているわけではない事をこれからも紹介していきたい。

生誕100年祭を安城高等学校で行ってはどうか。

新美南吉の本を読んで、読書感想文コンクールを行ってはどうか。

私は無知のせいか全く知りませんでした 世の中には 新美南吉のファンが多数いるとおもいますので 安城への集客するため もっと全国的にアピール インフラもとのえたらどうでしょうか

住んでいた頃の家を、そのあった実際の場所に再現すること。

大分県竹田市は、滝廉太郎が幼い頃に育った町(生まれは異なる)であり、滝廉太郎の住んでいた家というのが、実際のものか再現されたものかわからないがあり、多くの観光客を呼んでいる。確か、福沢諭吉の家も大分県中津市にあったと思う。家というのは、偉人を身近で感じる最も至近な方法ではないかと思う。

南吉の本の物語をモチーフに、手土産に持っていけるようなお菓子を作る。

単純に、新美南吉と安城のキャラクターがコラボした商品があるといいですね。食べ物ならごんぎつねバーガーとか？大あんまきの新美南吉バージョンとか？！
個人的には、ご当地キティちゃんが出ると嬉しいですが、新美南吉と安城を盛り込むのは難しいかもしれませんねー。

地元の商店や企業などと協力して、キャラクターのついたオリジナル商品を販売。
手土産に適したお菓子などがあるとPRに繋がると思います。

特に思い浮かばない

特になし。

幼稚園での読み聞かせ、学校、公民館などで特設コーナーの設置など目、耳から入るようにしては？

まず事業を興す前に市民の認知度を上げる必要があると思う。
また現代の流行を考慮するのだとすれば「萌えキャラ」にして全国に発信することで全国的な知名度を向上させ、安城市としての観光資源にもなるのではないかと思う。
最後にアイデアを募るのに256文字では具体案を見出すのは難しいと思う。

南吉さんが行かれたことのある店や場所を巡る散歩コースがあったらいいと思う。
高浜の鬼道のように、地図があったりしたらめぐりやすい。

企業とタイアップしたイベントの実施

デンパークの入り口に大きな看板をたてる

広く広報等にて、新美南吉のおいたち～よく読まれた作品等を、パンフレットで紹介するとよいと思いました。偉大な南吉像が皆に知れ渡るでしょう。

なし

どうして、半田の南吉を安城市が盛り上げるのか不思議である。
先日の町内会の会議でもその話題がでました。
安城市は明治用水では？

南吉といえば ごんぎつね の印象があります 沢山の本があったんですね。
子どもたちは新美南吉を知らないのでも子どもたちが関われる狐のキャラクターとかでアピールしても可愛いかも

南吉ゆかりの場所をめぐるウォークラリー(スタンプラリーでも)、南吉マップ(ゆかりの場所やエピソードが書かれたもの)

南吉マーク商品を作る。
アピタやピアゴなど大型店にも協力してもらって
集めると特典ありにする。
あんくるバスに乗ってもマークを貰えるといいな

学校から子供を通して南吉さんの事を知りました。これからも学校を通して色々な情報を発信して頂けるといいと思います。小さい子供達には図書館なので読み聞かせ会等、定期的に行って頂けると小さい頃から親しみをもって心に残るのではないかと思います。

南吉が生きた時代の安城市の人々のくらしを実物とともに展示する。

全国的(愛知県内でも)に知名度が低すぎるので、インパクトが無いのでは？

私自身あまりに知らない事がありました。気軽に参加できるイベントなどあるともう少し興味が出て来るかもしれません。

南吉の作品の主人公のピンバッジ、ワペン等の作成。(でんでんむし、狐等)

知名度が低いのに、そのキャラクターを題材としてアピール活動をして失敗します。それよりも若者に受け入れやすいキャラクター(ゆるキャラや萌えキャラ)を使ったキャンペーンの方が良いと思います。
更に発言すると、交通の便(電車、バス)が悪い地域が多い為、高齢者には優しくない街になっています。
シルバーの派遣さんを使い電気自動車のようなエコカーを用いたサービスを実施できないでしょうか？

南吉さんのたくさんの作品を知りたいです。

南吉が過ごした、もしくは、通ったであろう付近のウォーキング地図を作り、何かウォークラリーのようなイベントをし、アピールする。
また、その地図を利用して名鉄やJRのハイキング大会？を誘致する。

半田市には、南吉のゆかりの建物や、ゆかりの場所があり、施設も充実していることで、どうしても南吉とのつながりの比重は高い、そこで、当市とのゆかりをアピールするには、半田市と整合しない方法で南吉を活用し(半田市と話し合うことが必要)たいものです。南吉作品のなかで安城市に最もゆかりの深い作品の中で、登場する、動物、人物等を生かして、道路づくり、店舗づくり、に役立ててみたらいかがですか、南吉作品にとっぴり慕える場所を設けるなど、作品を中心に当市との関わりを強調した、まちづくりに期待したいものです。

- ・絵本のキャラクターグッズの販売店があるとよい
- ・南吉ゆかりの場所を巡るワークラリーも楽しそう
- ・絵本の内容が街のあちこちで読むことができるようになると、南吉の絵本が身近に感じられると思う

そもそも、半田市に既に、記念館が存在する南吉を活用することに違和感を覚える。
パクリ。二番煎じ。柳の下のどじょう。
個人が、南吉を盛り立てるのは自由だが、税金を使って安城市が行うというならば、もっとオリジナルなことに目を向ける方が望ましいと思う。

ゆるキャラをつくり 施設案内をする。

こんなに有名な人とは知らなかったです？
子供が学芸会などに芝居をするようになって知ったくらいです？
でも私達もたまたま来年に市民ギャラリーでパッチの展示をする事になって何か作品を作ろうと言う事でたまたま来年は新美南吉さん生誕100年と言う事で何か童話の作品を作る事にしました？
まだ～まだ何を作って良いのか？分かりませんか？
先生にお任せしてあります？
私みたいに知らない人が一杯いると思うのでこの機会にどんどん宣伝して童話を世間に広めたらどうですか？

南吉は半田のイメージのため、安城と関係がいまいち薄い。
よって関連した事業が思いつきません。

給食で出された南吉からの贈り物のクッキーはとても良かったです。またそのような食べ物やグッズなどがあると良いなと思います。

南吉のアピールについては、個人的に生誕地である半田が優勢な印象です。
半田との差別化、もしくは相互協力を図ってははどうでしょう。二市が力を合わせる事によって南吉の知名度が一市のそれより盛り上がると思います。
応援してます、頑張ってください☆

南吉の童話をモチーフにした、公園や遊び場を作る。

新美南吉の作品を舞台上で演じるグループがあれば、公民館などで披露してもらい、子供たちに見てもらい作品に親しんでもらう。

「南吉を活用したまちづくり」の要否？

今ひとつピンと来ない

市の広報・中日新聞の記事などを読み、上記「アンケート」の質問くらいは知識として答えられるが、もっと他に「安城」の”売り”はないものか？

日頃より、何かと施策が、市の”中心部”への取り組みに偏っているのでは？との、不満を抱いている

碧南市には南吉記念館があり、私も何度か訪れています。
生誕100年を来年に向け両市もそれぞれ企画、PR活動しています。
全国に向け、両市での足並みを揃え、展開してはどうでしょうか？

特には思いつきません。

南吉ゆかりの地マップを作り、スタンプラリー等楽しみながら回れる企画を立てる。
作品をまとめた冊子を作る。

南吉がよく知らないので 人物をもっとPRする

南吉せんべい、まんじゅうの土産を駅売店で売っては？

物語をモチーフにして、体験型の施設があると、親しみやすくなるのではないのでしょうか。

正直、過ごしただけじゃん…って思ってしまうので、生まれた町と共同で何かをした方がいいのかなと思う。半田と安城のいろんなお店を回ってスタンプラリーとか？

特になし

スタンプラリーではないけれど、南吉の作品の印を
各要所において押す。
作品の絵葉書を作る、販売する。

新美南吉が愛したスイーツがあれば、それを、そのままか現代風にアレンジして、お店のメニューにしたり、販売する…というのは、どうでしょうか。

安城図書館に南吉図書常設コーナーを作ってください。
今、は特設としてあります。これは図書館にもう出でた方が良いでしょうか？
個人的に上記作品を順次読みたい為です。市の協力があればありがたい。
作品に出てくる人物、動物を(絵本に出てくる)人形にしてデンパークに
展示。作品の心打つテーマの表現を これが大切です。

今 昭和の建物が減りつつあるから、そういうのを建てて 昭和を身近で感じて触れ合えるふるさとがあると 想像がしやすいと思う。

本の販売店以外にも安城市にある多くの大手スーパー、コンビニ等に、南吉の童話を販売するコーナーを設け、気軽に購入できるようにする。

・安城駅に新美南吉ギャラリー、ペンキ絵、南吉顕彰の全国第1号碑他のマップを展示する。
・さわやかウォーキングの安城コースに新美南吉のルーツを尋ねる拠点を入れる。

統一のキャラクターを決める。お金はかかるがプロのイラストレーターに依頼。公募などの素人くさいキャラにすると途端にピンボークさくなるからダメ。

公民館やスポーツセンターなどの公共施設で「市制60周年」の看板はみられますが「南吉が青春・・・」のキャッチフレーズを書いたものは見当たりません。元々安城市民ではなかった私には宣伝不足のように思います。市民センターなどの大きな会場でなくても公民館で南吉に関する講習会を催すなど身近な場所で理解を深める活動をしてみたらと思います。学校に行っている子供たちだけでなく、大人も一緒になって、皆が南吉の何たるかをもっともっと理解すれば気運が高まって、アイデアは自ずと生じてくると思います。

新美南吉がどのような人物かよくわからないのでまずどのような人物かを周知させる必要があると思います。

新しい建物を建てるのではなく、今ある施設を利用して、少しずつ「南吉」を紹介していくのが良い。
また、小学校の感想文コンクールなどでも推薦図書として取り入れてはどうかと思います。

事業アイデアなんて、すぐには名案が浮びませんが、
まずは、南吉を通して半田市との交流を深めることがタイセツ。市役所や教育委員会自らが南吉をタイセツにしている姿勢を各所で表現することがタイセツではないでしょうか。市民へのPRにつながります。市役所職員全員の名刺に南吉の作品のキャラクターを載せるなども良いのではないのでしょうか。よいアイデアが浮びません。ごめんなさい。

デンパークなども含めて市内各施設で一斉にイベントを行うような期間を設けてほしいと思います。

いろんな箇所に南吉の出来事があるとおもいますが、彼のターニングポイントの出来事などを大切に紹介してほしいです。

デンパークとコラボしてグッズ販売やイベントを行う。各施設や学校、保育園で新美南吉の絵本など朗読会や紙芝居の路上公演

広報に作品を少し載せる

街並みを綺麗にしようという意志がある人へ、南吉さんに関する物がデザインされたプランターをはじめとする植物栽培セットを配る。お花はサルビアと、サルビアと共に育てると映えるのを選択すると良い。街並みも美しくなるし、一石二鳥(^_^)v

南吉と言ったらずっと半田市だったので、いまさら南吉安城と言われても、違和感があります。なんだか横取りしているようで、町づくりを進めていいものか疑問です。

半田市と共同で、例えばお互いに自転車道があるのでサイクリングツアーなど。

申し訳ないことに私自身が南吉さんに詳しくないですし、半田に記念館やウォーキングコースがあるようなので、現在の事業の他にはなかなか思い当たりませんでした。しかし、作品には大変興味をもちましたので、図書館で行っている絵本大賞で入選した作品は是非読んでみたいです。会報や市役所のHPにもUPしていただければありがたいなと思いました。絵本になれば小さな子供にも容易に読み聞かせられるので、嬉しいなと思いました。

代表作のごんぎつねにちなんで、キツネのイラスト等、南吉をアピールするロゴマークを募集し、活動に使う。

南吉ゆかりの近隣市町村と協力してイベントを開催する。デンパークを使い、小中学生の作品展などに南吉コーナーを設けるのも一案。

生誕百年記念新美南吉童話賞の公募
や南吉をたずねて歩こう会など

安城市民だけのみならず、JR安城駅とか名鉄新安城駅などに絵本のワンシーンなど、南吉の作品を展覧会形式で紹介しては、いかがでしょうか。

安城市と言っても特定な場所たとえば安城駅周辺や市役所などに限らず
もっとPRして下さい
安城駅から遠い人は何もわかっていないような気がする

学校図書館に南吉コーナーを作って、子ども達にも広く南吉をアピールしています。

青春時代を過ごした、という中途半端な位置づけがどれほど訴求力があるものか、甚だ疑問に感じます。現状を越える予算措置は不要と考えます。

安城デンパークとコラボレーションで売りだして安城を観光ルートとして旅行会社へ売り出して見てはどうでしょう。後は、NHK朝レンドラに売出し全国的に魅力ある安城市を演出してみてもどうでしょう⇒昔は、日本のデンマーク～魅力のある町安城を市民から公募して『素敵な町安城』を全国に売り出して見てはどうでしょう

特になし

作品を未読です所以说えませんが、作品に安城市が反映されているところがあればそれを活かすと良いと思います。

特にありません

一般市民の参加できる事業が、良いと思いますが、今アイデアが浮かんできません。

南吉作品の劇もしくはミュージカルの公演。
安城高校の通りを南吉通りとしてパネルを並べたり、
または、道路に作品をモチーフにした絵を描く。
JR安城駅2Fコンコースや新幹線三河安城駅に大きな作品画を製作。
童話を読む子供たちが遊びに行く堀内公園に作品の大きな連続画を製作。

半田市とのタイアップ企画

半田市といっしょに何かできるのでは？ゆかりの安城高校と半田高校が合同で公開ディスカッションする場を作る、両市のゆかりの地をめぐるスタンプラリーなど。知多からの集客が見込まれると思います。

半田市と協同で知多方面からの集客。半田高校と安城高校が合同で公開ディスカッションする、両市のゆかりの地をめぐるスタンプラリーなど。

本がたくさん読める場所をつくる。

一番は、南吉音頭を作る。
南吉の本を市民に読ませる。(町内で回覧、貸し出す。)
南吉かるたを作る。
南吉旗を安城市内に沢山掲げる。
南吉の銅像を市役所に作る。
南吉パーク(デンパーク内)作る。

南吉の作品の多さにビックリ！知らない作品がたくさんありました。
もっともっとたくさんの作品を紹介したり物語に出てくるオブジェを商店街の所々に置くのもかわいしい興味を持てるかな！
スタンプラリーをしながら学ぶのもいいです！
あとは紙芝居や読み聞かせ音楽劇も楽しそう！！

南吉ストリートを作り、幾つかの代表作名のストリートも作る。その一帯は細い路地で構成され長浜の黒壁みたいなイメージの街にする。その中で南吉に因んだオブジェクトなどを配置し、オープンカフェや雑貨店などレトロな街並みになるとよいなあ。

お話の舞台になった地区を歩く。来年のJRのウォーキングは南吉をテーマにしてもらう。各菓子店には作品をテーマにした創作菓子を作ってもらう。料理店もお話の中に出た食材を使用した料理を作ってもらう。食べ歩きスタンプラリーをする。全部集めたら、おじいさんのランプより、ランプストラップ贈呈！
作品に関する謎解きしながら、町歩き。
南吉は、どうも地味なイメージ。高校生あたりに美化してもらうと、若者も集まるかなあ…

南吉がどういう人か、何をした人かを紹介した文章を書いた、パッケージのお菓子(食パンや菓子パン)や食品(豆腐、ソーセージ、加工品)を陳列すると、皆が見る機会がふえて認知度が上がると思います。

恥ずかしながら作品をほとんど読んだ事がないので、広報に毎回作品の紹介をしていただけたら嬉しいです。
又、一般の方のアンケートで私のお勧め作品をコメント付きで紹介したり、人気ランキングを出したらどうでしょうか。

南吉のクッキーは皆にも分かりやすく良かったと思う。

特にありません。

南吉館の運営は株式会社安城スタイルが担っている。
それは一企業なのか、市の運営なのか。
はたまた、補助金を貰って一企業が営利目的にやっているのか。
何なのだ？

南吉を活用したまちづくり？ 全く必要と思いません。

散策マップを作る。
アンクルバス一日乗り放題券に、おやつ程度の物を好きなお店を選んで食べれる券をつけたものを販売。
スタンプラリーで抽選で安城の特産物が当たる様にして、参加賞はちょっとしたお菓子とか。
ターゲットはお爺ちゃんお婆ちゃんと孫。

南吉の作品で劇団をよぶ。

市内に「南吉通り」を作り、沿道に本に登場するキャラクターのブロンズ像を設置する。

安城市単独では、切り口としては弱いですね。半田市など新美南吉ゆかりの都市と連携し、活動することで、地域活性化を図ればベストだと思います。

安城駅周辺はあまり行かないので、新安城駅周辺でもやってほしい。

絵本を子育て世代に配布し、啓蒙活動する。
幼少時代から南吉を身近な人物として慣れ親しむことが出来て良いのでは？

私は南吉が産まれた半田市で生まれ育ち、南吉と同じ岩滑小学校へ通いました。結婚して安城に移り住んでも「南吉が青春を過ごしたまち」ということで、ずっと南吉を身近に感じています。そこで南吉が産まれた半田市と提携できるものがあつたら活用できないでしょうか。

市からの郵便物等に、南吉に因んだ印刷を加えて印象づけてはいかがでしょうか。

一般教養として南吉は半田の人で代表作はごん狐。
安城市民に親近感を持たせるのに手間がかかりませんか？
そもそも市として南吉をどう活用したいのかがあつてから
キャッチフレーズを決められるはず。市としての事業の方向性が無いのか？
このままでは、無駄使いの気がしてならない。

先日、宮城県仙台市に行ったとき、新美南吉フェアをやっていました。安城の南吉カフェがチラシにのっていました。
遠い土地で南吉の生誕を祝っているのは、うれしいことです。
九州や北海道や遠いところでもPRしたらどうでしょうか。
外国も。
世界中の人に南吉を知ってもらえたら嬉しいです

高校の教員をしていただけなので、身近に感じないのでキャッチフレーズは思いつきません。

私は横浜市出身ですが、正直なところ安城に住むまで知らなかったか、忘れてしまっている。
愛知県以外の人間には南吉って誰？ と言った感じです。南吉を使って何を目的に誰のために、何をしたいのかわかりません。市民にも伝わっていないのではないのでしょうか？ 半田市が出身？ タイアップしたイベントはどうでしょうか？ 半田市を通りかかった時に南吉の看板を見たような気がします。

安城市内の高校生を中心に保育園小学校老人ホーム等訪問し南吉の本の読み聞かせをしたり
市内の高校生の朗読大会等開催したら良いと思います

・学校図書館に南吉スペースを設置してその充実を図る
若年世代への広報手段として、学校と、南吉関連の書籍だけでなくイベント・施設等との連携が密に取れている環境が整備されることは望ましいと考えます。

商店街を回って出来る謎解きスタンプラリー
南吉さんの童話を題材に謎を作って、
市の施設や商店街を回って行うスタンプラリー

すでにあるかもしれませんが、南吉が安城で過ごした時代の町の様子とか暮らしぶり、学校での様子など
そして南吉がどんなことを感じさまざまな作品を書いたのかわかるような場所を作って年に一回、何かイベントを実施し人を集めてほしい。

南吉像をたてる

えらい先生や、有名歌手に作ってもらった安城市の歌はありますが、正直あまりすぐれているとは思えません。

七夕祭りで何度も聞かされて、まあ覚えちゃったかなあ・・・程度です。

南吉さんの詩につける曲を募集してはどうでしょうか。

公募した曲は某アイドル総選挙のように、市民に人気投票してもらい、

七夕親善大使の人数だけ入賞曲を選びます。

仙台における青葉城恋歌、足利市における渡良瀬橋のような美しい曲が安城にも生まれるといいなと思います。

教員時代に通ったであろう道を「南吉ストリート」と名付けてウォークラリーの開催。

「ごんぎつね」にちなんでうなぎ屋さんとコラボ。

わからない

ゆるキャラ「なんきち」

ごんぎつねが有名なので、キャラクターやグッズを作ってははどうでしょうか？

安城歴史博物館にて南吉の生い立ちや、写真展等の展覧会を行うと良いと思う。

名鉄沿いではあまりPRを見かけないので、今度は是非何か飾ってほしいです。

半田のひとだと思っていたから少し今回のキャンペーンは驚いている

南吉作品のモニュメント(像)を街路に設置する。(フラワーロードのアンデルセン童話モニュメントのように)

特になし

新美南吉と言えば半田市を思い浮かべる人は大勢いるだろう。なぜ南吉と安城市が深くつながりがあるのか知っている人はそう多くないと思う。いかにして南吉が安城高等学校の教師をしつつ、その5年間で多くの絵本を生み出したかを市民にもっとアピールするべきだろう。まずは絵本のつながりがから幼稚園児や小学生に各学校事に新美南吉を知ってもらうことが大切。絵本のよみきかせだけでなく南吉に関する音楽や劇などどんどん南吉を知ってもらうようにして欲しい。

南吉の歩いた道を歩こうツアー←南吉が通勤に歩いた道や南吉ゆかりの場所を歩いてみましょう

南吉さんにあやかっの町おこしには賛成できません。すみません。

理由は、安城市は住みやすい街です。

そこに観光地のような事業は必要ありません。

静かですみ良い街が安城市だと思います。

半田市に以前より新美南吉資料館があることが良く知られているので、半田市と協力(タイアップ)している様子を前面に出さないと、【安城市がアイデアを盗んだ】とか、【半田市と同じことをしている】と感覚的に悪いイメージが先行しないだろうか心配です。また、安城高校の卒業生ですが、教員だったことや、石碑がある事は知りませんでした。

南吉の作品を絵や彫刻などの作品にして公園や駅に飾る

JR三河安城駅や安城駅、名鉄新安城駅のホームなどにアピールできるポスターを提示し、他地域からきた人に知ってもらえる様にする。また駅近くに小さな「南吉ブース」を作る。

スタンプラリー・南吉の名をつけたイベントの開催(商品や参加賞などがあり、参加者の興味を引けるものが良いと思う)・市内レストラン(出来ればファミリーレストランなども含む)で、南吉の名のつく商品を販売してもらう。イメージとしては上野動物園でパンダが来た時にまわりの飲食店で出されていたパンダをイメージしたカレーライスやパフェ、クッキー、ロールケーキなど。

南吉館のドリンク無料券などを配布して、市民が一回でも足を運ぶことになれば、もっと広がると思います。

幼稚園の園児、小学生などの児童から大人まで楽しめるイベントを開催してほしいです
デンパークでイベント。もしかしてやっていますか？

南吉が安城でどのように過ごしたかを示すパネルを、駅前や、各所の市の施設などにおいて、日ごろからPRする。

特にありません。

なんきちカフェをもっと気軽に入れる雰囲気にしてほしい。コメダ珈琲店かコンビニみたいに、、、

南吉をよく知らないなので、アイデアもありません。
本を読んだこともなく、読みたいとも思いません。

あんくるバスに宣伝があるのは知っていましたが、
興味がないので南吉についてどうアイデアを出していいのかわかりません。

南吉ゆかりの場所や店を南吉の童話の世界そのままに再現する。
南吉と言えば半田のイメージだから、半田とコラボしてイベントをする。

南吉さんの作品のなかで、土地名がでているものがあれば、そのことを利用して、看板や、像を建てる。

南吉＝半田市というイメージは拭いきれない。安城市民でも半田市民でもない公正な立場からでもそう思う。半田市の南吉記念館には行ったことあるけど、安城市がゆかりの地とは、職場が安城になるまで全然知らなかった。
知名度としてそれは仕方のないことだと思うので、出身地としてよりも「青春を過ごしたまち」としてどうするかがポイントかと。
物語を多く書き残した地なら、それぞれの物語の周知を広め、南吉自身よりも物語に関連した何かを考えては？全然具体的じゃなくてすみません。

広報「安城」に、南吉の作品を1年間掲載する。もっと南吉を安城の市内外の場所に露出させる。名鉄、企業に協力してもらい、企業内社員にもイベント規格を募集して、開催する。

いままでほとんどPRしてこなかったのに生誕100年を機になどともっともらしい理由をつけて南吉を商売に利用しようとする考えを改めたほうがいいんじゃないですか。

南吉の絵本を公園に置いて、自由に見て楽しめるようにしたらどうか。(南吉絵本コーナー)
図書館ではなく身近に南吉のことがわかるようにする。

出身が安城ではないので子供が小学生時代に南吉に親しみを感じるようになりましたが今ひとつインパクトに欠けるように感じます。説明付きで南吉ゆかりの地めぐりのバス見学会や講習会があれば楽しみながら勉強ができると思います。市のバスを利用し学芸員の方の説明がありちょっとステキなランチがあれば行きたいです。高度成長時代を支えた団塊の世代は定年を過ぎて退屈してます。現役時代は仕事に追われ勉強時間がない…。やっと仕事から解放されたのですから…。親子対象だったり60歳以上対象だったり…。いろんなバージョンありで。

南吉と半田は縁が深いとは思いますが、安城では教員生活を送っただけとしか知らず、縁の深さを知らない。もう少しインパクトが欲しい。

今安城が行っているもの(絵本の公募・展示・バス)以外なかなか思いつかない。とても広くやっていて、市民にも伝わっていると思う

駅前通りや商店街の通りに、南吉の絵本のキャラクターと一緒に座れるベンチをそこら中に設置して、もっと身近に感じられるようにしたらどうか。
また、南吉にまつわる場所や記念碑が一目できるマップの設置や、ルートをわかり易く明示してはどうか。毎年、定例のウォークラリーも開催すると面白いかも。

境港のように新美南吉ロードを作る。

安城市が作った南吉の絵本を全国の図書館におく
ゴンギツネクッキーをネット販売する

スーパーとか多くの人が集まる場所にキャッチフレーズを張ったりしたら、もっと認知度があがるのでは…

思い浮かばない。

安城駅に南吉の像を建てる

引っ越してきて1年半ちょっとですが南吉さんの存在自体知らなかったです。バスなど目につくので良いと思います。駅や市役所で南吉さんパッケージのお菓子など作ってみては？もうありますか？

関係ないので申し訳ないですが、新美南吉のカフェは行きたくても駐車場がないようなので行けない。

最近テレビで(ケーブルテレビ「ゴリ夢中」etc)で安城市と南吉の関係について 知りました。(南吉は小学校から知っていたが) 若い世代で広報とか あまり見ない人の為に コンビニ等に置いてある「咲楽」(無料情報誌)などに掲載したらどうでしょうか

南吉のロゴもしくは絵本に登場する有名なキャラクターをプリントしたクッキーなど老若男女に受け入れられるような物を製造、販売する。

南吉のお話をモチーフにした、着ぐるみでイベントをしたり、町を歩いてみたらどうでしょうか。

市役所前に宣伝物

他市で、市のキャラクターをイメージしたお菓子を、市内の和菓子店、洋菓子店で販売している所がありますが、ごん狐のクッキーの販路を拡大するのはどうでしょうか？

安城市が日本のデンマークと呼ばれていたのは他市町村の人達もかなり知っていてデンパーク周辺を景観保存地区にしてもっとそれをアピールすべきと思うのですが、新美南吉は安城市民でもちょっと唐突感があります。広報等を通じて先ず安城と南吉との関わりについてもっと市民に周知活動すべきです。駅等、公共の場所で新美南吉が安城で活躍した写真等を掲示すると親近感が湧く人達が増えて良いと思います。

- ・将来の童話作家を育てるような事業を小学生や中学生を対象に行う。
- ・分館になっている公民館図書館にもすべて南吉コーナーを設ける(充実させる)。

特にありません。

南吉を全く知らないなので、そこからお願いします。

学生に読者感想文を書いてもらう。テーマ決めて！

安城のもっとたくさんの店で、南吉にちなんだ商品を売り出す。喫茶店や飲食店で南吉由来の共通の商品を提供する。

南吉が青春時代に憧れていた食事を提供する食堂

南吉グッズ(キツネ等かわいいグッズ)を作成し、販売する。

安城市内にある駅全てに、ポスターを隔週か月毎で掲示する。内容は作品から引用し駅毎に分けるorローテーションする。

また「市長の声・市の意思」をもっと前面に出すべきでは？
新美南吉は確かに著名では有るのですが、その人を今、紹介する意味は？
安城市の向かう方向を定義し、これを単なる1回のイベントに留めるのではなく、些細な事で良いので市の有り様を連動して変化させる事が良い効果を生むと考えます。

近所の小学生に南吉を知っているか聞きましたが知らないという答えが沢山ありました学校の図書室などで子供たちに興味をもてる読み聞かせの時間を持ったらどうでしょう私も南吉のことを知ったのは40年ぐらい前に弟に聞いてはじめて知った次第ですその後読んでいないので今後読んでみたいと思います
事業アイデアとは少し違いますかね？

中学校の卒業記念のプレゼントに市から南吉の本をプレゼントする。

アニメ化する。もしくは実写化する。

南吉は出身地の半田に記念館もあり半田のイメージが強く、過ごしたことに間違いはないが、安城市がキャッチフレーズまでに使うのには違和感がある。

新美南吉記念館を建てる。

南吉の足跡を辿る名所めぐりや、作品の背景と作品をまとめて学生に教えてあげる等はどうでしょうか？私自身も南吉について無知なので、関心があります。

- ・ 駅や体育施設周辺に童話主人公のモニュメントを設置。
- ・ 童話主人公から熊本のくまもの様な、全国的に有名になる様なゆるキャラを作成し、安城のシンボルとして広める。
- ・ 愛知県が男子フルマラソンがない県であるのは寂しい。
マラソンブームに乗ったり、全国規模の南吉マラソン(42.195km公認)を開催する。
川内優輝選手、藤原新選手を招待し、
一流選手から市民ランナーまで参加できる大会にする。
テレビ放映を誘致して、安城市を全国的に名前を轟かせる。

南吉ゆかりの場所ツアーに行きたい 個人でだと開放していない場所が多いとおもうので市役所さんで企画運営してほしい 駅周辺の南吉の歩いた場所の地図を作ってほしい 花の木など区画整理で木琴道路などなくなる前に 古い時代を体感したい

ギャラリーカフェの存在を広く知らせて多くの人が入りやすいようにすることが必要と思う。

安城市に5年間で取り上げるのは、ちょっと、どうか。
決め方に問題があるとしても、一旦決めたのであれば、効果的に進むといい。
南吉の優しさ、思いが、安城市の本来もっているものと、結びつくといい。土臭さ、など。
自転車道に、無人の売店(地産の野菜、のみもの..)設置し、南吉の”動物”を登場させたネーミングなどは?

屋内型テーマパーク
3Dシアター
公園

朗読会
感想文の募集※絵や文章問わず※
被災地での朗読会
被災地への本の贈り物
ラジオでの朗読会

南吉ワールド安城市

安城広報の表紙をかざる。
駅に銅像をたてる。

無駄なことに市民の税金を使うべきでない。これ以上、このイベントに税金を投入すべきではない。市民による自主的な活動、市民の寄付金だけで行うべき。関係が薄い安城市がこれでもか、というくらいに関わろうとしている姿が痛すぎる。恥ずかしい。

なし

FACE BOOKを開設する

ごんぎつねが一番有名だと思うので、とっかかりとして、市内の子供に本や冊子を配った方が馴染みやすいと思います。

インターネットで買えるようなお菓子を作り販売する。

愛知県出身者ではないので、南吉さんをよく知りません。アイデアをかけなくて、すみません。

特に浮かばない

新美南吉というと、ごんぎつねのイメージが強く、半田市との関連が思い出されます。
新美南吉が数年過ごしただけの安城としては、残念ながらインパクトが弱く、市民でありながらも私を含め、周囲や家族も、よくわからない、それほど関心がないといった現状です。
南吉が安城市にいた時に、安城高校で勤めていたことは知っていますが、それ以外のことはわかりません。
南吉の通っていたお店や安城での好きな食べ物など、安城との強い繋がりがもっとアピールできるとよいかと思います。

南吉が下宿先の新田町から安城高校に通った道にモニュメントがあつたら、たのしいのでは...

・キャチフレーズ「今でも振り返ると 南吉に逢える町」
・南吉をイメージした物を、ゆかりの場所を、点あるいは線で結んで、整備して「南吉コース」を設ける。

南吉スタンプラリーなどイベント

半田市には新美南吉にちなんで、彼岸花が植えられた場所があり、地元の人たちにとって、守られていると、テレビか何かで知ったのですが、安城にそのような場所はあるのでしょうか。もしないのであれば、グリーンロード沿いや、デンパークに彼岸花を植えて見てはいかがでしょうか。南吉の作品をいろいろ読んでいるわけではないのですが、例えば作品中に食べ物(特にお弁当)の記述があれば、その食材を使って南吉弁当を作ってみるのもありではないかと思います。

登場人物又は動物の絵をいくつか選んでご当地ゆるキャラを作る。物語に登場する美しい場面に該当する土地の写真又は絵をつくり、イベントののぼりなどに常に掲載する。

南吉の作品が、絵本だけでなくビデオでも見れるといい

来年度の「田んぼアート」で生誕100年と代表作品を図案化。

南吉の事は全然分からない。作品名ばかり言われても分からない。けど知りたいと思う気持ちがあるから絵本は読みやすいから作品を知れる機会があればいいなと思う

駅前ばかりでなく、各小中学校に作品を一つずつ描いてもらい、校門前に飾る。
全てふと目をやりながら安城市を一周すると、作品の全てを知ることができる。
また町外れの、活気の届かない地域の方にも南吉が伝わるかと思っています。
各小中学校での地域住民参加型イベントを企画する。
次世代に繋いでいくのに有効な人材はやはり小中高生だと思うので、
地元の活気付けには、そこへアプローチをかけるのが有効かと思っています。

南吉さんがこんなに多くの作品を書いていることは知りませんでした。この作品の全文あるいはあらまし等を安城市広報に連載しては如何でしょうか。市民の関心も上がると思います。

特になし

南吉の像を何らかの形(出来れば実物大)で安城駅前に建て、アピールの一助とする

図書館や公民館での、絵本の読み聞かせ会などどうでしょうか

どうせなら、市内全域でまち作りをして欲しい。
安城駅前だけでは、そのような活動をしているのは気づけない。
あと、この夏、南吉音頭があれば、七夕に来た観光客の耳にも残ったのかもしれないね。
市外出身の方で新美南吉を知らない方がたくさんいます。
みなさんに、知って頂けると嬉しいですね。

安城にいた頃、南吉が好きな食べ物をモチーフにした南吉弁当を販売してはどうでしょうか。(安城でとれる野菜、果物例えば安城梨やイチジクなど南吉さんが、好きだったらお弁当に入っているといいですね)